

幼児教育長期派遣通信 2学期号

発行 令和7年12月19日

三次市立八次小学校 金子 真代（派遣園・所：三次市東光保育所）

幼児教育長期派遣研修として、1年間東光保育所にて、乳幼児期に、子供たちがどのようなことを経験し、学び、育ってきたのか、小学校教育にどのようにつなげていくことができるのか乳幼児教育の実践を体験しながら理解を深めているところです。

1 2学期の研修内容

(1) 園内研修

- ・保育補助、園外保育引率補助（主に年長児クラス）

(2) 園外研修

- ・幼児教育理解に係る研修
- ・接続にかかる研修会
- ・幼児教育長期派遣研修報告会
- ・幼保小連絡会、連携推進協議会

2 研修を通して

研修が始まって9か月・・・早いもので残り3か月となりました。日々幼児や保育所の先生方と関わる中で、幼保小接続を円滑に行い、発達や学びがつながり小学校で生かせるようにするために大切だなと感じたことがいくつかあります。

・園所、小学校が互いを知る（知ろうとする、伝え合う）

例えば・・・

国語でお話作りをしたので今度児童の作品を持って行ってもいいですか。



国語でお話作りするのか。じゃあ想像力をふくらます遊びをしっかりとっておこうかな。



行事があるときは、自分たちで衣装作ったり飾りを作ったりしたんですよ。

園所

小学校

こんなに自分で考えて作れるなら、もっと選択肢を増やせるような教材を考えよう。

お互いを知ると、保育改善・授業改善に繋がり、子供たちがつけてきた力や学びを今まで以上に生かすことに繋がるのではないかと感じています。

・目指す子供像を共有すること

各園所と小学校が目指す子供像を共有すると、共通する部分を見つけたり互いに歩み寄ったりして、同じ方向を向いて保育・教育ができます。共通認識をもつことで、幼保小が一貫して子供たちの育ちや学びをつなぐことができると考えます。

・どのような力が育まれているのか具体的にイメージできること

それぞれの園所で取り組みは違いますが、その違いを生かして授業に取り入れることもできるのではないかと思います。また、具体的にイメージできると、生かし方の幅も広がってくると感じています。

例えば、保育所のドキュメンテーション(子供の日常の姿〈活動、興味、言葉、成長〉を写真・動画・文章などで記録・「見える化」し、保育の質向上と保護者・保育者・子供間の対話・共有を促進するためのもの)を小学校にも掲示したり、公開保育に参加したりするなど、継続して取り組めることを模索中です。



東光保育所ドキュメンテーション

・職員が繋がること

園所と小学校の職員が繋がることができると、連携がよりスムーズになり、上記に述べたことも実現しやすくなると考えます。今年度の研修を生かして、私自身が繋ぎ役となっていきたいと思えます。

様式6

2学期は、十日市保育所(公開保育)、みゆきこども園に行かせていただいたので、そこでの保育の様子を紹介します。



**まちを作る！
～どうしたらくつつく？～
(十日市保育所)**

今までお散歩で行った思い出の場所をみんなで再現しよう！大きな木があったのを作りたい！私は巴橋を作りたい！

考える力 やりぬく力

やりぬく力

ここに枝をつけたい。だってあの大きな木には枝がいっぱいついていたんだもん。こうしたらつくかな。

ここに柱をつけたいんだよね。これでできるかな。うーん、(長さが)足りない。どうしよう。ちょっと長くしたらできるかな。もう少し長くしてつけてみよう。



考える力

【自分のやりたいにとことんこだわれる環境】自分の「やりたい」が実現できる時間と物が揃っており、同じチームでお互いの「やりたい」を受け入れたり協力したりして完成に向かっていく。
【友達のアイデアを受け入れる人間関係】同じチームの友達が「〇〇したい。」とつぶやくと、「いいね、いいね！作ってみよう！」「〇〇したらどう？」と友達のアイデアや意見を前向きに受け入れ、一緒に町を作っていくことを楽しんでいく。

人と
かかわる力

**やりたいことを選んでやって考えて
(みゆきこども園)**

自分でやりたいことを探してやってるよ。上手くできなくてもやってみたい！どうしたら思うようにできるかいつも考えてるよ。

考える力

「(おままごとの)メニュー表書きたい。“ちょ”ってどうかくの？」
「これだよ。見て書いたらわかるよ。」



人と
かかわる力



人と
かかわる力

【興味をもった時に取り組める環境】
書きたいという気持ちになったときに、すぐにひらがな表が取り出せる場所にあり、自分たちで調べながら書くことができる。

やりぬく力



考える力



【幼児の遊びを大切に作る働きかけ】
幼児の遊びはずっと続いている。一人ひとりの思いを大切に、続きとして保管しておきたい遊びは、名前を書き、他の人に触れられないようにしていた。

C「この砂とっときたい。」
T「次に外で遊ぶときに使うの？」
C「そう。名前書いて。」
T「いいよ。シール貼っておこうね。」
名前を書いたシールを貼ってもらい、大切に保管できる場所に自分で置きに行く。

3 まとめ

園所によって、取り組み方や環境設定は違います。しかし、子供たちの「やりたい」を大切に、そこから子供たち自身で選択させ、判断・決断させ、思いや願いをかなえていくという形はどの園所にも共通していると感じました。その過程で育んできた力を、小学校で生かし伸ばせるよう園所と連携し小学校へ還元していきたいです。

〈乳幼児教育支援センターより〉
すっかり幼児教育に魅せられていますね。そして、そんな幼児教育の魅力をもっと生かすため園・所と小学校の職員が対話を通して繋がる必要性を感じ、自ら様々な施設に出向き、コーディネーターの役割を果たしていることも素晴らしいです。ここからは来年度のスタートに向け、いよいよスタートカリキュラムを具体的に改善していく時期です。ワクワクが継続するカリキュラムを目指しましょう。